

計画停電の改善策について

1. 当日の電力需給の見える化【22日(火)朝より実施】

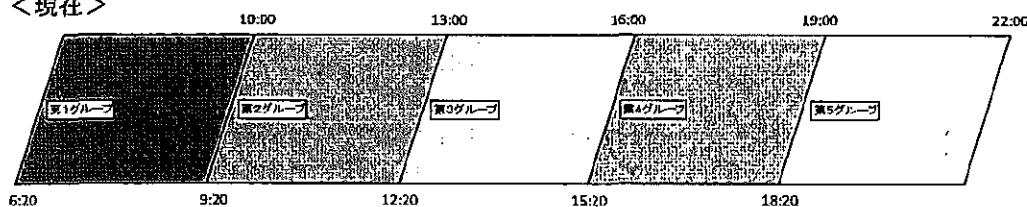
○節電がより効果的に進むためには、電力需給の状況が「見える化」されることが有効。このため、東京電力が自社ホームページに電力需給データをほぼリアルタイムで掲載し、経済産業省のホームページでも掲載。

2. グループの細分化と停電の順位付け【26日(土)より実施】

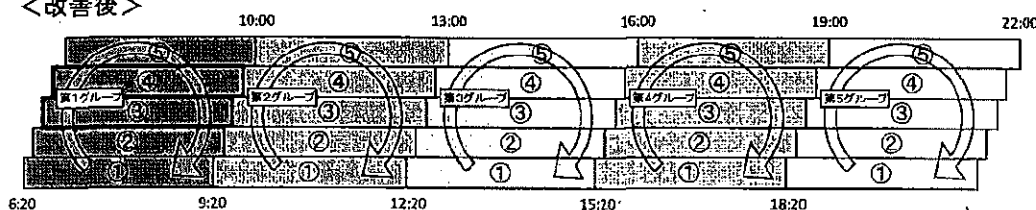
○現在公表している5つのグループにつき、それぞれ5つに細分化(サブグループ化)。

○サブグループがどの順番で停電する予定かを公表し、順番はグループ内でローテーションすることで、停電の予測可能性を高める。

<現在>



<改善後>



※例えば、はじめに第1グループの③・④が停電対象となった場合は、次回は⑤→①→②→③・・・の順に停電対象となる。

3. 停電見通しの事前順位【26日(土)以降速やかに実施】

○サブグループごとに、以下のような「電気予報」を実施することで、「2.」で高めた予測可能性を個々の需要家に分かりやすく伝える。

青信号:「当該時間帯には実施しません」

黄信号:「停電実施は不確実」

赤信号:「停電実施の可能性が非常に高まっています」

注意:上記についてはあくまでも予定であり、確定した情報ではありません。